

また、がん患者の心理的・経済的な負担を軽減するため、医療用補整具の購入費用の一部を助成してまいります。

子育て支援対策につきましては、年度途中の待機児童を解消するため、新たに青山保育園に0・1歳児クラスを開設して、保育園の運営体制を強化してまいります。



▲青山保育園

子どもとその家庭及び妊産婦などに対して、専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務までを行う「子ども家庭総合支援拠点」を設置してまいります。支援を一体化することで妊娠期から子どもへの社会的自立にいたるまでの包括的・継続的な支援をしてまいります。

総合福祉センターの改修工事を行い、町民の皆様により快適にご利用いただけます。

る環境を整備してまいります。総合福祉センターしいの木では、児童センターの園庭において、障がいのある人にかかわらず児童と一緒に遊ぶことができるよう、ユニバーサルデザインを取り入れたインクルーシブ遊具を設置してまいります。また、総合福祉センター南館ひまわりでは、エントランスホールや会議室、子ども工房、音楽室等の空調設備を改修してまいります。

高齢福祉につきましては、75歳以上の高齢者への外出支援や社会参加の促進を図るため、町内運行バスの高齢者割引制度を試行するとともに、高齢者の見守りサービスを拡充してまいります。現行の緊急通報システムに加え、自宅内での異変を早期に把握し、迅速な対応につなげる緊急時駆け付けサービスを新たに開始し、ライフリズムの変化による見守りセンサーの設置など、サービスの選択肢につきましても拡充してまいります。

障がい者福祉につきましては、町内に就業系サービス事業者や精神障がい者が利用できる事業所がないことが課題となっております。そのため、障がいのある人がその障がい種別によらず、町内で障がい福祉サービス等を受けることができるよう、新たにサービス事業所等の誘導を図るため助成制度を設けてまいります。

目標5

**いきいきとした豊かな心を
持った人を育むまち**

「目標5 いきいきとした豊かな心を持つ人を育むまち」についてであります。

本町の将来を担う子どもたちが、生きる力を育むために教育環境の一層の充実に向けてまいります。また、町民の皆様が芸術や文化活動に親しむことができる場を提供してまいります。

教育環境の整備につきましては、今年度「中学校施設整備基本構想会議」を設置し、「目指すべき中学校のあり方」について、財政負担や整備手法、将来のまちづくりの観点などから検討してまいりました。令和4年度は、町民アンケートや、生徒・学校関係者へのヒアリングで伺った様々なご意見を踏まえて、6月までに「目指すべき中学校のあり方」をとりまとめ、公表してまいります。

感染症対策と児童生徒の健やかな学びの保障を両立し、安全・安心な教育環境の実現のため、豊山小学校の本館を始め、西館、講堂、屋外プールなど全てのトイレ改修工事を実施してまいります。自動水栓や自動照明に加え、性の多様性にも配慮した多目的トイレを設置してまいります。また、個性の尊重と多様性への理解促進を図るため、中学校の制服の見直しにつきましても、検討を行ってまいります。

文化振興事業につきましては、町制施行50周年記念事業に併せて町民参加型の音楽会を開催してまいります。プロの演奏により本物の音楽に触れていただくとともに、町民の皆様も一緒に演奏できる

機会を設けてまいります。

郷土資料室につきましては、本年3月にリニューアルオープンします。また、町制50周年記念事業として、町誌編さん過程において収集整理した資料を活用して、昔と現在の街並みを比較した写真パネル展を行ってまいります。町の発展の歴史を改めて感じていただきたいと思います。

目標6 にぎわいを生み出す 個性豊かなまち

次に「目標6 にぎわいを生み出す個性豊かなまち」についてであります。

商工業につきましては、町内事業者の次代の担い手を確保するため、町内事業者への事業承継支援制度を新たに導入してまいります。事業所が、事業継続、新商品の開発、業態変換などに取り組む際に必要なコンサルタントなどへ委託する費用に対して補助率50%、上限10万円の補助を実施してまいります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、今後も予断を許さない状況にあり、地域経済への影響が懸念されるところであります。引き続き、コロナウイルスと共存しながら日常生活と経済活動を両立させていくため、40%のプレミアム、1冊5,000円、額面7,000円の商品券を14,000冊発行し、町民や事業者の皆様への生活支援と地域経済対策を講じてまいります。